

議 事 概 要

【第6回】

新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議

1. 日時 令和3年3月26日（金） 14:00～15:00

2. 場所 県庁6階 第1特別会議室

3. 参加者

知事 玉城 デニー

副知事 照屋 義実

商工労働部長 嘉数 登

保健医療部 保健衛生統括監 糸数 公

文化観光スポーツ部 観光政策課長 山川 哲男

商工労働部 産業振興統括監 松永 享

〃 産業雇用統括監 友利 公子

（以下オンラインでの参加）17団体中12団体参加（うち7名代理参加）

一般社団法人沖縄県経営者協会 常務理事 田端 一雄（代理）

沖縄県商工会議所連合会 中小企業相談部 部長 大見謝 弘輝（代理）

沖縄県商工会連合会 専務理事 親川 進（代理）

沖縄県中小企業家同友会 代表理事 喜納 朝勝

公益社団法人沖縄県工業連合会 会長 古波津 昇

沖縄経済同友会 事務局長 佐久本 卓弥（代理）

一般社団法人沖縄県建設産業団体連合会 会長 津波 達也

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 専務理事 前原 正人（代理）

沖縄県農業協同組合中央会 常務理事 嵩原 義信（代理）

沖縄県飲食業生活衛生同業組合 理事長 鈴木 洋一

一般社団法人宮古島観光協会 専務理事 平山 茂治（代理）

沖縄県社交飲食業生活衛生同業組合 理事長 下地 秀光

4. あいさつ（玉城知事）

✓ 昨日、県内で77名もの新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された。

県独自の緊急事態宣言が終了して、まだ1ヶ月も経っていないが、宣言終了時点と比べて、1週間あたりの陽性者数は3倍近くに増えている。

✓ 感染の再拡大を回避するための「再発警戒段階」と位置づけて警戒を呼びかけていたが、予想以上に大きなリバウンドとなっている。

- ✓ 最近の感染拡大の特徴としましては、やはり宴会など飲食の場面が圧倒的に多くなっている。年齢別の陽性者数は、若い年代が半数以上を占める典型的な流行の立ち上がりの様相を呈している。
- ✓ 今後、その感染が高齢者層に広がってしまうと、医療機関の負担が一気に増し、流行も長期化していく。
- ✓ このまま感染拡大を食い止めることができなければ、第4波にそのまま突入し、再び、県民に不要不急の外出自粛を求めざるを得ない状況になる。
- ✓ そのため、本日、知事・三役総出で、飲食業組合や社交飲食業組合も同行の上、繁華街への巡回活動を実施し、感染拡大防止対策の徹底をお願いする。
- ✓ 本日の会議では、経済団体の皆様と現状の共有を図り、感染防止対策の徹底や周知等について、産業界と行政が連携し、今まで以上に、どのように取り組むことができるかなど、忌憚のない意見を賜りたい。

5. 議題

(1) 今後の感染防止対策に関する意見交換

ア 県からの説明

- ✓ 3月25日時点の療養者数は496人、直近1週間合計の新規感染者数は371人となっており、沖縄県の判断指標上で第4段階の数値となっている。
- ✓ 直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数は、3月24日時点で沖縄県が23.10人となっており、全国で2番目に高くなっている。1番目は宮城県の33.54人である。
- ✓ 県内の感染状況としては、那覇市保健所管内、中部保健所管内、南部保健所管内で増加傾向にある。
- ✓ 療養者数、新規感染者数、病床占有率、感染経路不明割合が増加傾向にある。
- ✓ 新規感染者に占める60歳以上の割合は、3月20日～25日時点で12.3%となっており、若者に占める割合の方が多い傾向にある。これまでもそうであるが、若者で感染が広がった後に、高齢者に広がっていく傾向がある。
- ✓ 現時点では、重症者、中等症者ともに急上昇というわけではないが、しているわけではないが、その手前の段階であると認識している。
- ✓ 飲食関係の陽性者数については、緊急事態宣言中は減少傾向であったが、宣言解除後の3月から徐々に増え始め、3/14～3/20の間では、

75人となっている。

- ✓ 飲食関係感染者の市町村別の割合では、直近の1週間で、那覇市35%、宜野湾市16%、浦添市12%と市町村によって数字が異なっている。
- ✓ 緊急事態宣言解除後は、繁華街等で人の動きが戻りつつある。
- ✓ 移入例による陽性者については、急激に増えている状況ではない。
- ✓ 年齢別の感染者数は、直近1週間で20代～40代の世代において感染が広がっている。
- ✓ 現状は、緊急事態宣言後のリバウンドというかたちで飲食による感染が急拡大している状況である。
- ✓ 医療機関の方で入院患者が溢れているというわけではないが、これまで経験した流行のパターンから、このままいくと入院が長引く高齢者への感染拡大が生じてくることが想定される。
- ✓ 国の専門家会議でも沖縄県の動向を心配しているという意見もある。
- ✓ 県では感染の急拡大にブレーキをかけるため、無料のPCR検査を那覇で開催する方向で調整を進めている。
- ✓ 本日、知事が沖縄市、謝花副知事が那覇市、照屋副知事が浦添市など5市の繁華街で、市の幹部職員、関係業界にも同行していただき、巡回キャンペーンを実施する。

イ 参加者意見

- ✓ いきなり時間短縮要請となると、事業者側も仕入れ等の調整もあるので、指標がどこまで達したら時短要請を行うなど明確なメッセージをお願いしたい。
- ✓ シーサステッカーを掲示していても、感染防止対策がとられていない店舗も多い。シーサステッカーの有効性を高めるために、行政で改めてチェック、立ち入り検査などを実施してほしい。
- ✓ マスクの着用の徹底を県も業界も改めて啓蒙活動を行っていただきたい。県内大企業は若い社員も多いことから、社員にも再度経営者からマスク徹底などを呼びかけるようにしてほしい。
- ✓ 事業者側だけでなく利用者側も防疫対策を徹底していただきたい。
- ✓ GoTo トラベル事業の開始前に、感染の落ち着いている地域から域内旅行支援を国が始めるとの報道がある。集中的な対策をとり、沖縄県も感染が落ち着いている地域に指定されるよう取り組んでほしい。
- ✓ 雇用調整助成金の特例措置は5月から漸減とのことだが、これまで

同様事業者負担分の上乗せ助成を継続してほしい。

- ✓ 資金繰りについて、返済の猶予等が円滑にすすむよう引き続き支援をしていただきたい。
- ✓ 国の一時支援金については、地域による取組に差がある。県のサポート窓口も開設したということなので、手続きの簡素化なども含めてサポートしていただきたい。
- ✓ 県のホームページに掲載されている推定感染源のデータを最新に更新してほしい。

6. まとめ

- ✓ 本日の新規感染者が暫定で89名となっており、増加に歯止めがかかっていない状況であるため、3月28日（日）に、再度本経済対策本部会議を開催する。
- ✓ 各経済団体からいただいた意見については、感染症対策本部会議に報告することとし、閉会。

令和3年3月26日

〔商工労働部 産業政策課〕